

<映画「36. 8℃ (サツ ヲカド ハブ)」とは?>

17歳の女子高生・若菜は、なにかと遠慮がち。家族や友達と平和に過ごしているが、時に微妙な温度差を感じて、悩んでしまう。見えない進路、家族の期待、気になる元カレ。悩みを打ち明けられるのは、SNSで知り合ったOL・みずほさんだけで…。

加古川の街を舞台に、みずみずしい女子高生たちの日常を、豊かな食を交えて描く。

<「ぼくらのレシピ図鑑シリーズ」とは?>

株式会社映画 24 区（東京都／代表取締役・三谷一夫）が「地域」「食」「高校生」をキーワードに自治体と組んでつくるオリジナル映画のシリーズ。高校生たちの青春映画で、地元の食材やオリジナル料理が劇中に数多く登場するのが特徴です。今後、全国の自治体と組んで、地域を徹底的に取材したオリジナル脚本で本シリーズを拡大・展開されます。その第1弾「ひょうご加古川編」として本市を舞台にした映画が製作されます。

堀田真由（主演・若菜役）コメント

前田若菜役の堀田真由です。舞台が加古川市ということで、関西出身の私がこの度主演を務めさせて頂けることに幸せでいっぱいです。

素晴らしい作品をお届けできるように精一杯頑張ります！

安田真奈（監督・脚本）コメント

「36. 8℃」……このなんともいえない微熱のような数字は、青春の揺らぎそのものです。激しく不幸でもなく、幸せの絶頂でもなく、毎日は、ちょっと嬉しかったり、ちょっと不安だったり、の繰り返し。そんなリアルで普遍的な青春模様を、加古川の素朴な風景や食を織り込みつつ、優しく紡ぎあげていきたいです。

【映画監督・脚本家プロフィール】

安田真奈。奈良県出身、大阪府在住。神戸大学映画サークルで8mm映画を撮り始め、メーカーに約10年勤務の後、2006年、映画「幸福（しあわせ）のスイッチ」監督・脚本で劇場デビュー。和歌山を舞台にした、上野樹里×沢田研二の電器屋親子物語。当作品で、第16回日本映画批評家大賞特別女性監督賞、第2回おおさかシネマフェスティバル脚本賞を受賞。

映画「猫目小僧」「劇場版 神戸在住」、NHK「やさしい花」「ちょっとは、ダラズに。」、MBS「奇跡のホスピス」、関西テレビ「大阪環状線～ひと駅ごとの愛物語 Part2 芦原橋駅編『ダダダゆうてドン』」脚本担当。
絵本「にじいろのネジ」文章担当。

<映画「36. 8℃ (サツ ヲカド ハブ)」キャスト>

- 前田若菜（料理が得意な主人公の高校生）：堀田真由
- 中林実果（若菜の友人で自由奔放な高校生。果樹園の一人娘）：岸本華和

●尾上歩結：（若菜の友人で真面目な性格の高校生。家は将棋教室）西野凧沙

●若菜の父：寺脇康文

●若菜の母：渡辺真起子

●若菜の弟：加古川市民

●清水透（若菜の彼氏。ボート部員）：安藤瑠一

●桂木将志（歩結に想いを寄せる写真部員）：平井壘門

●歩結の父：岡田康裕（加古川市長）

●歩結の母：橋詰優子（ABCアナウンサー）

●歩結の妹：加古川市民

●歩結の弟：加古川市民

加古川観光大使の陣内智則さん、ジョーナカムラさんも登場。

ボート部員、くつ下工場長、実果の幼少期、若菜のクラスメイトなど多くの市民が出演しています！